

写真で
みる

消防署の一日 3月7日は『消防記念日』



△望楼勤務

昼夜を問わず、望楼から全町をながめ、一日の無火災を祈る署員。

▷通信勤務は緊張の連続である。

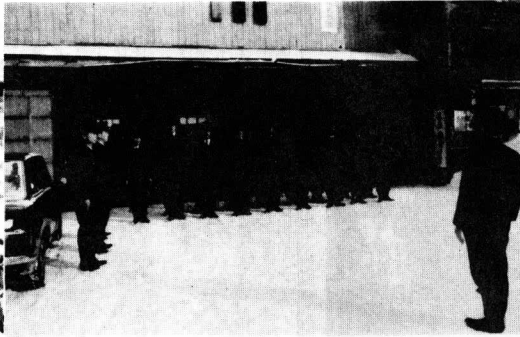
消防無線電話
火災報知専用電話(119番)
一般加入電話(2-1119番)

▽④1秒でも早く火災に
出動するために訓練

④消火せん試験

「水量はだいじょうぶかな…」ふだんにもよく点検

⑤機械・器具操作の講習
消防ポンプの取扱いと操作を迅速確実に行なう講習を熱心を受ける消防団員。



△朝の交代

午前8時30分、署長からきょう一日の訓示が行なわれる。

三月七日は、消防組
織法が施行されてから
満二十一年になる。
今日、産業経済の発
展、科学技術の進歩、
社会文化の向上により、
災害を発生する新しい
危険性は、いよいよ増
してきており、これに
伴って、消防の使命は
さらに重きを加えつつ
ある。

消防の使命は、い
までもなく火災や災害
から住民の生命、財産
を守る初動体制が大切
といわれています。
「消防記念日」を機
会に町の消防署の一日
を写真で特集してみま
した。



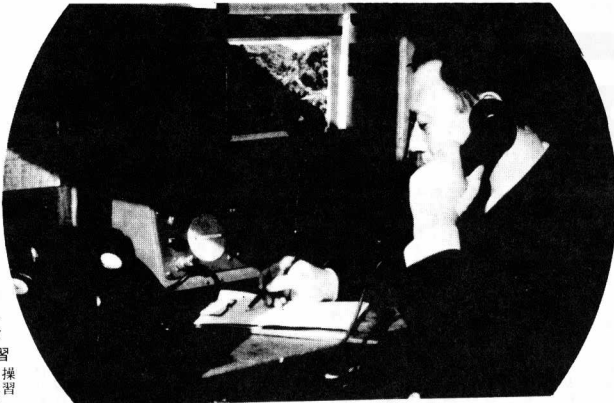
発行所・秋田県奥羽町役場総務課
編集人・松尾裕一
発行部数 (6,300部)
発行価10円 郵便番号 038-33
印刷所・秋北新聞社

郷土の遺品



陸奥式土器

縄文を部分的にすり消して用いた複雑な曲線文様が発達している。
一藤株遺跡出土
(東北大学文学部蔵)

昭和42年43年
火災発生状況

(1~12月)

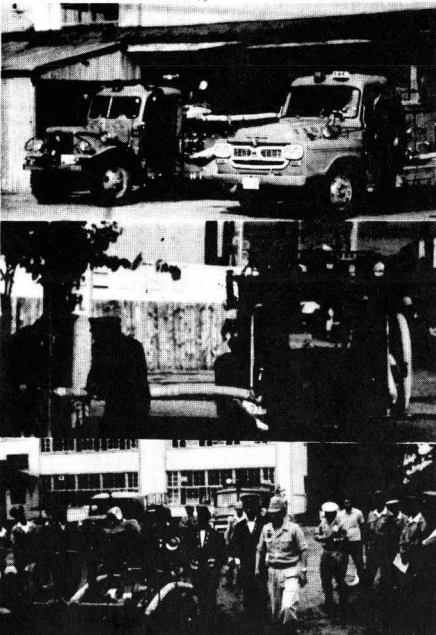
区分	42年	43年
件数	17	24
専用電話	7	16
一般加入	5	5
置換発見	4	
郵便通報		1
事後通知		
その他		2
罹住	4	18
半焼		2
住宅		2
部分焼		1
非住宅	5	1
全焼		
半焼		
部分焼		4
罹物	638.02㎡	3,920.46㎡
林野その他	44.5㎡	2.26㎡
罹面積		
罹火	4	122
罹人	107人	56,439人
罹畜	3,495頭	54,754頭
罹畜	832頭	832頭
合計	10,439人	65,756人



予防査察

油類、ガス販売店を訪問して、火災予防を指導する

家庭を訪問して「奥さん、煙突が破れて
いますよ……」と指導する



〈地質〉

層(50~1000m)・小比内沢層(50~400m)・薄井沢層・前山川層(200~400m)・湯車層および段丘堆積物に分けられます。ただし、図幅地域東部には、一通(いつり)層と名づける岩谷層といふ小比内沢層相当の地層が分布しています。このうち、下位の藤倉川層・黒石沢層・早口沢層の3層は、いわゆる「グリーンタフ」からなり、主として本地域の東半部に分布し、これより上位の「油田第三係」は西半部に分布しています。

大野台周辺の段丘分布図

水 川
 第 7 段 丘
 第 6 段 丘
 第 5 段 丘
 第 4 段 丘
 第 3 段 丘
 第 2 段 丘
 第 1 段 丘
 段丘堆積物不露部

0 1 2 km

もうすぐ下年生

＝入学前の心づかい＝

100

熱戦をくりひろげる卓球大会

鷹巣町民謡研究会

民謡とともに十年、趣味を同じくした同志が、民謡を明るくする大きな動力となつてゐるグループがあります。鷹巣町民謡研究會(佐佐木勇長)は、一月十一日創立十周年記念民謡発表會を内外の来賓をむかへて盛大に行なつた。

會員は民謡を受する人々を被露した。当日の材料はそつくり町の社會協進會(寄付、既報)に提供してゐます。

研究會からは、若手にも多くており、堀江学校で給仕をしてゐる野洋子(本姓藤島)と、木村悦子さんが、謡日本をめぐり、林田で勉強してゐる。

【果町民謡研究会創立10周年記念】

上				下			
番 号	行	先	田 改正	番 号	行	先	田 改正
422	上	野	9.42 9.37	443	古	森	13.68 13.39
442	山	形	12.44 12.45	912	盛	岡	16.50 16.49
502	大	田	13.50 13.51	421	古	森	18.25 18.27
402	上	野	16.49 16.48	639	大	館	19.57 19.55
8502	大	田	17.29 17.28				
530	秋	田	19.56 19.57				

列車ダイヤ一部改正

鷹ノ巣駅

2月1日から鷹ノ巣駅
車時刻表が次のように改
になりました。

